

「もしも」のときに備えて、

いまからできることを。

写真は、2011年に発生した東日本大震災の被害の様子。
町もさまざまな区域で、甚大な被害を受けました。
災害が多い近年は、人だけでなく、ペットの同行避難を受け入れる自治体も増えてきており、町も対応しています。
9月1日は防災の日。今一度、家族全員で防災について考えてみませんか。



夏目地区の町道 2011年撮影

避難前に準備しておくべきこと

緊急時の対応について家族で確認を

緊急時、飼い主と同行避難することが安全ではあるものの、ペットによっては、不慣れな避難生活により体調を崩すリスクもあります。

日ごろ、あまり外出機会の無い猫や小動物などは、特に注意が必要です。自宅待機とするか、避難所へ向かうか、また、飼い主が留守の場合など災害発生時に家族全員が適切に判断できるように話し合しましょう。

町で公開している各種マップは、災害の種類に応じた避難計画の策定に役立てることができます。右記のQRコードよりご確認ください。

紙のマップについては、役場でも配布しています。

町ホームページ▶



ペット用持ち出し袋 (目安：3日分以上) を用意しましょう

- ・フード、水、食器
- ・トイレ用品 (ペットシート、処理袋など)
- ・首輪、リード、キャリーバッグ
- ・常備薬、ワクチン接種証明書
- ・必要に応じて、日常で使用しているもの
- ・動物病院の診察券 など

環境省ホームページ
「ペットの災害対策」▶



いつも食べているフードは、避難先でも規定量を与えられるよう、一食分の目安がわかるような工夫をし、慣れない避難所生活が苦にならないよう、日常で使用している、クッションや毛布、おもちゃやおやつなど、ペットに合わせて用意しておきましょう。念のための診察券や予防接種証明書、服用薬なども忘れずに。

また、避難所生活では、飼い主が責任を持ち、ほかの避難者とともに協力して生活することが重要となります。ペットが避難してきた際のフードやシートなどは備蓄しておらず、飼い主自身で用意する必要があります。日ごろの購入物品を少し増やし、古いものから使用していく「ローリングストック」を心がけましょう。

防災無線が聞こえづらい方は、
下記のQRコードから登録を！



▲町公式LINE



▲防災メール



▲町ホームページ(防災)

日ごろの備えが大切です

- ・ケージやキャリーバッグに慣れさせておく
- ・ほかの人や動物に慣れさせておく
- ・ワクチン接種・ノミ・ダニ対策の確認

ペットを含む家族全員で、「もしも」に備えましょう！

総務課 庶務係 ☎86-6082

意外と便利なペットカート
・片手が空く
・移動も楽
・物置運搬にも活用



避難所でのマナーとルール

- ・ペットは原則として飼い主が責任を持って管理してください。
- ・避難所では、指定された場所や車両などの中で飼育しましょう。
- ・無駄吠えや咬傷事故を防ぐため、必ずリード・ケージを使用しましょう。
- ・排泄物の処理・清掃は飼い主が責任を持って行いましょう。

ペット同行避難とは？

町では、災害時にペットを連れて避難所へ避難することができます。ペットは「家族の一員」。安全に避難するために、日ごろから備えておきましょう。

東庄町のペット飼育割合は11%

(町に登録のある犬の飼育割合。7月1日現在)

もしもの時、町では、動物が苦手な方やアレルギーを有する方への配慮のため、同行避難したペットは別区画へ案内します。

避難場所は確保されているものの、ペット用の物資は飼い主自身が用意する必要があります。災害時、ペットを連れて避難できる準備はできていますか？